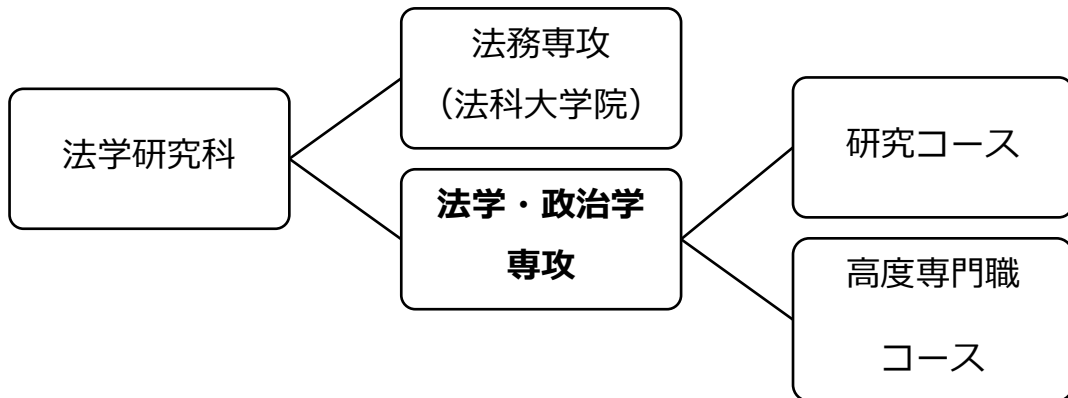


金沢大学大学院法学研究科法学・政治学専攻の概要

1. 改組の概要：

- 改組の時期：2020年4月1日
- 「法務研究科」を「法学研究科」に名称変更した上で、既存の法務専攻（法科大学院）に加え、法学・政治学専攻（修士課程）を新設します。
- 法学・政治学専攻には「研究コース」と「高度専門職コース」を設けます。
- 現在の大学院人間社会環境研究科に設置している法学・政治学専攻（博士前期課程）は学生募集を停止します。
- 現在の大学院人間社会環境研究科に設置している人間社会環境学専攻法学・政治学コース（博士後期課程）は存続します。
- 法学研究科（2020年4月1日以降）の組織は以下のとおりとなります。



2. 法学研究科法学・政治学専攻（修士課程）の概要

- 定員（1学年の入学人数の上限）：8名
- 修了までの在学期間：2年（特に優秀な成績を修めた者、短期（1年）在学型選抜で入学した者は1年でも修了可）
- 授与する学位：修士（法学）または修士（政治学）

3. 研究コースの概要

- 研究コースは、主に博士課程（または博士後期課程）を経て大学等の研究機関の研究者となることを目指す方のためのコースです。当コースでは、指導教員の指導の下、専門的知識を修得し、研究会での報告と議論を通じて自らの思考を鍛えつつ、修士論文を執筆します。次の4プログラムを設けています。
 - ① 基礎法学プログラム：法理学・日本法制史・東洋法制史・外国法を研究するプログラムです。
 - ② 公法学・社会法学プログラム：憲法・行政法・税財政法・国際法・刑法・刑事訴訟法・労働法・社会保障法を研究するプログラムです。

- ③ 民事法学プログラム：民法・民事訴訟法・商法・経済法・国際私法・国際取引法・知的財産法を研究するプログラムです。
- ④ 政治学プログラム：公共政策論・政治社会学・政策過程論・計量政治学・政治思想史・政治コミュニケーション論を研究するプログラムです。
- 入試：専門科目の筆記試験と口述試験に基づき合否を判定します（台湾協定校および英語による特別選抜は書類による事前審査及び口述試験）。

4. 高度専門職コースの概要

- 高度専門職コースは、修士課程修了後、法や政治に関する高度な知識を必要とする分野で活躍することを目指す方のためのコースです。各人が目指すキャリアに応じた実践力を得るため、指導教員と相談しながら、複数の研究会への参加や研究科共通科目（法務専攻との共通科目）の履修、社会における具体的な法的・政策的課題を基に実践的な研究活動を行いレポートにまとめる「プロジェクト研究」の履修などを含め、各院生の希望に寄り添ったオーダーメイド型の教育を受けられます。修了までに研究成果を修士論文またはリサーチペーパーとしてまとめます。
- 3つの特色
 - ① **法科大学院との連携**：現在の法科大学院の講義の一部（約 30 科目）を履修できるようになります。
 - ② **社会との連携**
 - 税理士試験受験者向けに、大学院を経て税理士として活躍している講師の授業「租税法 II」を新設します。
 - 国家・地方公務員行政職を目指す方のための講義科目（選挙管理法制、危機管理・復興法制、政策法務）を新設します。一部の講義は自治体の職員研修と連携する予定です。
 - ビジネスで必須の交渉スキルを身に付ける「交渉学」を新設します。
 - ③ **法学類との連携**：法学類 4 年時に大学院科目を先取り履修し、学類 4 年 + 修士課程 1 年で修士号を得られる仕組みを導入する予定です。
- 入試：研究計画書等の書類と、研究計画についてのプレゼンテーションの内容に基づき合否を判定します。

（以上はすべて現時点での予定であり、今後変更することもあります。）